

令和5年度 岩見沢市立上幌向中学校グランドデザイン

学校教育目標

『夢と希望に充ちた15の春をめざして』

五稜:北海道の開拓を表し、先人の偉大な業績と魂を表現(勉学・健康・誠実・努力・創造)

確かな知性を身につけよう:勉学・創造 豊かな感性を養おう:誠実・努力 健やかな心身を育もう:健康

経営方針「未知の自分に出会う」～挑戦・粘り強さ・他者との関わりの追求～

めざす教師像

「子どもを大切にできる教師」

・子どもの成長を喜び合う教師

めざす生徒像

「志高く生きる生徒」

・新しいことに粘り強く挑戦する生徒

めざす学校像

「子どもが輝く学校」

・信頼と期待に応える開かれた学校

経営重点1 授業づくり

- ◆「社会に開かれた」教育課程の実現と改善サイクルの確立
- ◆学ぶ力の定着～話すスキル・聞くスキル・書くスキル・考えるスキル・対話するスキルの育成
- ◆授業改革～「子どもと創る授業」による主体的・対話的で深い学びの実践
- ・対話・協働等コミュニケーションをもとに思考力・判断力・表現力を高める
- ・個別最適な学びの推進(指導の個別化・学習の個性化)
- ・振り返りの充実
- ◆道徳科授業の充実～推進体制等の充実
- ・「考え・議論する道徳」のスタイル確立
- ・豊かな人間性と社会性の育成

経営重点2 仲間づくり

- 積極的生徒指導の充実～自尊感情や自己有用感の育成
- ・「いいとこみつけ」の積極的な交流
- ・子どもの気持ちに寄り添い、子ども理解に基づく指導の推進
- 生徒会活動の充実～生徒自身が主体的によりよい学校にしようとする態度の育成
- 生徒の主体性を重視した活動の充実～「ピア・サポート」による「傾聴・受容・共感」の学級風土の醸成
- 人間関係の再構築～粘り強く他者と関わることができる教育活動の実践

経営重点3 学校づくり

- 客観的評価からの課題把握～OODA ループと RG-PDCA サイクルの併存
- 学び方・教え方・働き方を一体で変える ICT 活用の充実
- 企画委員会の充実
- 児童生徒、教員の交流を図り9年間の学びを展開する小中のスムーズな接続～小中が一貫した取組(研究主題や学校行事の連携・総合的な学習のつながり)
- 積極的な情報発信～家庭・地域と生徒の学びを共有する。
- コミュニティ・エリア機能の拡充～地域の人的・物的資源の活用

数値目標

- ・標準学力テスト(NRT)の結果で前年度より向上した生徒を100%にする。
- ・全国学調で「授業の内容がよくわかる」と回答する生徒の割合を90%以上にする。

数値目標

- ・「学校に行くのは楽しい」と回答する生徒の割合を85%以上にする。
- ・「自分にはよいところがある」と回答する生徒の割合を85%以上にする。

数値目標

- ・「学校は保護者や地域と協力して教育活動に取り組んでいる」と回答する保護者の割合95%以上にする。
- ・「学校は教育活動の様子を保護者や地域に伝えている」と回答する保護者の割合を95%以上にする。

調査【Research】

- ・学校評価アンケート
- ・全国学調/標準学力テスト
- ・いじめ調査/QU テスト
- ・チャレンジテスト
- ・中学校区 CA 学校関係者評価

計画【Plan】

- ・前年度9月に次年度学校経営方針提示
- ・企画委員会
- ・職員会議
- ・年度末反省/新年度計画

構想【Goal】

「未知の自分に出会う」
生徒の育成

実行【Do】

- ・年度初めから Do モード
- ・各種アンケート実施
- ・各テスト実施
- ・CA の積極的な推進

改善【Action】

- ・学校指導計画の見直し
- ・職員会議
- ・年度末反省/新年度計画

評価【Check】

- ・企画委員会
- ・学力向上委員会
- ・学校評価アンケート
- ・組織マネジメント
- ・学校経営方針
- ・年度末反省/新年度計画